

復興教育副読本活用 (防災教育を主として) 各学年年間指導計画



栗石町立安庭小学校

平成27年度 安庭小学校 第1学年 防災教育 指導計画

防災教育の目標	避難訓練の意義を理解し、周囲の人の指示に従い、安全に行動している。
単 元 名	自分の命は、自分で守る。
単 元 目 標	【意欲・関心】身の回りの様々な危険の原因に気付いている。
【教育的要素】	【知識・理解・体験】災害について基本的な現象と危険について理解している。
	【思考・判断・表現 実践】学校や自分の住む地域の災害時の危険予測と避難の仕方を考えている。

月	時 間	価 値	指導計画	副読本との関連
			教科・領域等 「単元名・活動テーマ」 【教育的要素】 ○目標	【具体の21項目】 「題材名」
4	1	いきる	特別活動 「がっこうはたのしいな」 【意欲・関心】 ○教室や遊具を確認しながら、災害にあった場合の危険や命を守ることの大切さについて考える活動を通して、本単元のねらいを考えている。	②【自然との共存】 「しぜんとともに」
	1		道徳 「ハムスターのあかちゃん」 【意欲・関心】 ○身近な生き物の誕生や成長の様子を見つめ、生命のたくましさや自然と共に生きることの大切さについて考える。	①【かけがえのない生命】 「生きのこったイトヨ」
	1	かかわる	特別活動 「JRC 登録会」 【知識・理解・体験】 ○ボランティアの意義を知り、友だちや学校のために役立つために自分ができることを考えている。	⑪【ボランティア】 「協力し合うって、楽しい」
	1		生活 「にじ色花壇づくり」 【知識・理解・体験】 ○ボランティアを行っている人の思いや活動を通して、他の人たちや地域社会に役立つことを進んで行おうとする心情を育てる。	⑪【ボランティア】 「協力し合うって、楽しい」
5	1	そなえる	道徳 「がっこうでの ぼうさい、あんぜん」 【知識・理解・体験】 ○学校の内外の危険を知り、いざというときの行動の仕方を確認する。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのときどうする」
	1		特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「みんなでぼうさい力を高めよう」
6				
7	1	いきる	生活 「たのしみだね なつやすみ」 【意欲・関心】 ○夏休みの計画を立てるとともに自分にできる手伝いを考える。	②【価値ある自分】 「家族のみんなによるこんでもらったよ」
8	1	かかわる	特別活動 「けいろうかいではっぴょうしよう」 【知識・理解・体験】 ○敬老会への取り組みを通してお年寄りを敬い、大切にしようとしている。	⑬【地域づくり】 「『ふるさと科』で町を元気に」
9	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震や火災に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「みんなでぼうさい力を高めよう」
10				
11	1	いきる	生活 「あきともだちになろう」 【意欲・関心】 ○秋の野原や公園で生き物を探したり、秋を感じたりしながら遊ぶ。	⑦【体の健康】 「友だちや家族と遊ぼう」
	1	かかわる	道徳 「ぼくのしごと」 【知識・理解・体験】 ○役に立つうれしさを感じ、みんなのために進んで働くことのよさを知る。	⑪【ボランティア】 「協力し合うって、楽しい」
12	1	そなえる	特別活動 「たのしいふゆやすみ」 【知識・理解・体験】 ○冬の家での過ごし方について話し合い、安全な過ごし方を確認している。	⑯【自然災害発生のメカニズム】 「大雪とそのひがい」
	1	かかわる	道徳 「ぼくの はな さいたけど」 【知識・理解・体験】 ○身近な人たちに温かい心で接し、相手のことを考えて親切にしようとする。	⑩【県内外や海外の人々とのつながり】 「思いやりの心」
1	1	そなえる	特別活動 「じぶんのいのちは じぶんでまもる」 【思考・判断・表現】 ○緊急地震速報が鳴った時の身の守り方を考えている。	⑭【身を守り、生き抜くための技能】 「ショートくん練をやってみよう」
	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【実践】 ○避難訓練の意義を理解し、周囲の人の指示に従い、安全に行動している。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのときどうする」
2				
3	1	いきる	道徳 「ぼくの しろくま」 【意欲・関心】 ○生命を大切にする学習のまとめをし、来年度の学習の見通しをもつ。	①【かけがえのない生命】 「はるかのひまわりロード」

平成27年度 安庭小学校 第2学年 防災教育 指導計画

防災教育の目標	避難訓練の意義を理解し、きまりや約束を守り、安全に行動している。
単 元 名	自分の命は、自分で守る。
単 元 目 標	【意欲・関心】身の回りの様々な危険の原因に気付いている。
【教育的要素】	【知識・理解・体験】災害について基本的な現象と危険について理解している。
	【思考・判断・表現 実践】学校や自分の住む地域の災害時の危険予測と避難の仕方を考えている。

月	時 間	価 値	指導計画	副読本との関連
			教科・領域等 「単元名・活動テーマ」 【教育的要素】 ○目標	【具体の21項目】 「題材名」
4	1	いきる	道徳 「じぶんでオッケー」 【意欲・関心】 ○自分でできることは自分でやり、希望を持って生活しようとする態度を養う。	③【価値ある自分】 「家族のみんなによるこんでもらったよ！」
	1	かかわる	生活 「町がだいすきたんけんたい」 【知識・理解・体験】 ○復興教育の主な学習内容と目的が分かり、進んで行おうとする態度を育てる。	⑨【仲間や地域の人々のつながり】 「作文 ありがとうおまわりさん」
5	1	そなえる	特別活動 「安全な登下校」 【思考・判断・表現】 ○登下校時、地震や雷等の災害にあった場合の避難行動について考えている。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのときどうする」
	1		生活 「町がだいすきたんけんたい」 【思考・判断・表現】 ○地域の店や郵便局等の見学中に、大きな地震がおきた場合の行動について考える。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのときどうする」
	1		特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「みんなでぼうさい力を高めよう」
	1		特別活動 「音楽室で地震がおきたら」 【知識・理解・体験】 ○音楽室で大きな地震が起こった時の危険を考え、安全姿勢をとる練習をしている。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「ショート訓練をやってみよう」
8	1	いきる	道徳 「ながいながいつうがくろ」 【意欲・関心】 ○自分が暮らしている安庭の人々や自然やよさについて考える。	②【自然との共存】 「しぜんとともに」
	1	かかわる	生活 「えがおのひみつたんけんたい」 【知識・理解・体験】 ○敬老会に向けての練習を通して、元気を与えることの大切さについて考える。	⑬【地域づくり】 「『ふるさと科』で町を元気に」
9	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震や火災に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「みんなでぼうさい力を高めよう」
10	1	いきる	特別活動 「こころのサポート授業」 【意欲・関心】 ○リラックス法を知り、前向きな気持ちで生活しようとする態度が育っている。	⑥【心の健康】 「つらいとき、かなしいとき、どうする？」
11	1	かかわる	特別活動 「クリーン作戦Ⅱ」 【知識・理解・体験】 ○地域の施設や道路を清掃する活動を通して、縦割り班の仲間と協力して取り組むよさに気付いている。	⑪【ボランティア】 「協力し合うって、楽しい」
	1		特別活動 「三世代交流会・感謝の会」 【知識・理解・体験】 ○家族や地域の人々との交流を通し、感謝の気持ちや協力することの大切さが分かっている。	⑫【自分と地域社会】 「まけないぞうがつなぐきずな」
12	1	かかわる	道徳 「金色のまどのいえ」 【知識・理解・体験】 ○親の子どもへの思いについて考える活動を通して、家族の絆や家族の一員としての喜びを実感する。	⑧【家族のきずな】 「四つの教え」
	1		道徳 「いま、ぼくにできること」 【知識・理解・体験】 ○相手のために働くことの価値について考える活動を通して、役立つことを進んで行おうとする心情を育てる。	⑪【ボランティア】 「協力し合うって、楽しい」
2	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【実践】 ○避難訓練の意義を理解し、きまりや約束を守り、安全に行動している。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「みんなでぼうさい力を高めよう」
3	1	いきる	特別活動 「成長した自分」 【意欲・関心】 ○復興教育の学習を通して、夢に向かって努力する大切さや自分の可能性について考えている。	③【いきる】 「「ゆめ先生」が伝えたいこと」
	1	かかわる	生活 「ありがとうをとどけよう」 【思考・判断・表現】 ○自分の成長を通して、協力することの大切さや互いへの感謝について考える。	⑨【仲間や地域の人々とのつながり】 「作文 ありがとうおまわりさん」

平成27年度 安庭小学校 第3学年 防災教育 指導計画

防災教育の目標	災害に応じた避難方法を理解し、自ら安全な行動をしている。
単 元 名	自分の命は、自分で守る。
単 元 目 標	【意欲・関心】身の回りの様々な危険の原因に気付いている。
【教育的要素】	【知識・理解・体験】災害について基本的な現象と危険について理解している。
	【思考・判断・表現 実践】自分の住む地域の災害時の危険予測と避難の仕方を考えている。

月	時 間	価 値	指導計画	副読本との関連
			教科・領域等 「単元名・活動テーマ」 【教育的要素】 ○目標	【具体の21項目】 「題材名」
4	1	いきる	総合的な学習の時間 「自分の命は自分で守る」 【意欲・関心】 ○本単元の主な学習内容と目的を考え、進んで行おうとする心情を育てる。	①【かけがえのない生命】 「はるかひまわりロード」
	1	かわる	特別活動 「JRC 活動」 【知識・理解・体験】 ○青少年赤十字の活動を知り、自分から進んで実践しようとしている。	⑪【ボランティア】 「協力し合うって、楽しい」
	1		特別活動 「室内・学校の安全」 【知識・理解・体験】 ○地震発生時の危険について理解し、身の守り方・避難の仕方を考えている。	⑫【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「みんなで、ぼうさい力を高めよう」
5	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑬【身を守り、生き抜くための技能】 「ショートくん練をやってみよう」
6	1	いきる	道徳 「ホタルの引っこし」 【意欲・関心】 ○自分が暮らしている安庭の人々や自然やよさについて考える。	①【かけがえのない生命】 「生きのこったイトヨ」
7	1		特別活動 「大雨災害 そなえあればうれいなし」 【意欲・関心】 ○身近に避難が必要な災害が起きていることを知り、防災学習の必要性を感じている。	⑫【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「家族で地震にそなえましょう」
	2	かわる	総合的な学習の時間 「安庭を探索しよう！景観学習」 【知識・理解・体験】 ○景観学習を通して、自分達の住んでいる郷土を愛する心を育てる。	⑭【復旧・復興へのあゆみ】 「津波を乗り越えて一奥尻島」
	1		体育 「着衣水泳」 【知識・理解・体験】 ○服を着た状態で泳ぐ難しさを知り、対応の仕方が分かる。	⑫【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのとき、どうする？」
8	1	そなえる	総合的な学習の時間 「調べたことを発表しよう」 【思考・判断・表現】 ○発表会を行い、今後の学習の発展について話し合う。	⑮【東日本大震災津波の様子と被害の状況】 「東日本大震災」
	1	いきる	総合的な学習の時間 「しぜんとともに」 【意欲・関心】 ○自然の豊かさと厳しさ、自然と共に生きることについて考える。	②【自然との共存】 「しぜんとともに」
	1	かわる	総合的な学習の時間 「安庭地区の防災マップを作ろう」 【知識・理解・体験】 ○自然との共存について考え、自分の身を守ることに必要感をもつ。	⑬【地域づくり】 「防潮堤を見て学ぶ一宮市田老」
9	2	そなえる	総合的な学習の時間 「安庭地区を探検しよう」 【思考・判断・表現】 ○地域を見て回り、危険箇所や危険度を防災マップに書きこむ。	⑫【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「みんなで、ぼうさい力を高めよう」
	1		特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震や火災に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑮【災害時における情報の収集・活用・伝達】 「きん急地震速報」
	1		特別活動 「命を守る！その時あなたはどうしますか」 【思考・判断・表現】 ○安全に避難するにはどう判断したらよいか、主体的に考えている。	⑫【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのとき、どうする？」
10	1	かわる	理科 「太陽と地面の様子」 【知識・理解・体験】 ○日なたと日陰の地面の様子を調べ、太陽と地面の関係について考える。	⑰【自然発生のメカニズム】 「急な大雨・かみなり・たつまき」
	1	そなえる	総合的な学習の時間 「防災のことを伝えよう」 【思考・判断・表現】 ○防災マップを2年生に分かりやすく伝えるにはどうしたらよいか考える。	⑭【復旧・復興へのあゆみ】 「防潮堤を見て学ぶ一宮市田老町」
	1		総合的な学習の時間 「調べたことをまとめよう」 【思考・判断・表現】 ○発表練習を通して、災害から身を守るためにはどんなことが必要か考えを深める。	⑰【自然災害の歴史】 「岩手の主なさいがい」
11	1		総合的な学習の時間 「2年生に伝えよう」 【思考・判断・表現】 ○発表会を行い、感想を交流したり今後の学習について話し合ったりする。	⑬【地域づくり】 「防波堤を見て学ぶ一宮市田老」
	1	いきる	道徳 「ぼくのおばあちゃん」 【意欲・関心】 ○家族を敬い、家族の一員として家庭を明るくして行こうとする心情を育てる。	③【価値ある自分】 「家族のみんなに よろこんでもらったよ」
12	1	かわる	特別活動 「三世代交流会・感謝の会」 【知識・理解・体験】 ○家族や地域の人々と交流を通し、感謝の気持ちや協力することの大切さが分かっている。	⑫【自分と地域社会】 「まけないぞうがつなぐきずな」
	1	そなえる	特別活動 「命を守る！その時あなたはどうしますか2」 【思考・判断・表現】 ○安全に避難するにはどう判断したらよいか主体的に考えている。	⑫【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのとき、どうする？」
	1		特別活動 「避難訓練」 【実践】 ○災害に応じた避難方法を理解し、自ら安全な行動をしている。	⑱【自然災害のライフラインへの影響】 「ライフラインって何？」
3	1	いきる	総合的な学習の時間 「学習をまとめよう」 【思考・判断・表現】 ○1年間の活動を振り返り、今後の学習の発展について話し合う。	④【夢や希望の大切さ】 「ゆめ先生がつたえたいこと」

平成27年度 安庭小学校 第4学年 防災教育 指導計画

防災教育の目標	災害に応じた避難方法を理解し、自ら周囲の人と協力して、安全な行動をしている。
単 元 名	自分の命は、自分で守る。
単 元 目 標	【意欲・関心】身の回りの様々な危険の原因に気付いている。
【教育的要素】	【知識・理解・体験】災害について基本的な現象と危険について理解している。
	【思考・判断・表現 実践】自分の住む地域の災害時の危険予測と避難の仕方を考えている。

月	時間	価値	指導計画	副読本との関連
			教科・領域等 「単元名・活動テーマ」 【教育的要素】 ○目標	【具体の21項目】 「題材名」
4	1	いきる	道徳 「ぼくのへんしん」 【意欲・関心】 ○自分で決めたことは、ねばり強くやり遂げるようとする心情を育てる。	⑤【やり抜く強さ】 「三陸鉄道のたたかい」
	1		総合的な学習の時間 「海人の心」 【意欲・関心】 ○自然と共に生きていくことの大切さが分かり、本単元を自分事としてとらえる。	②【自然との共存】 「海人の心」
	1	かわる	特別活動 「JRC 活動」 【知識・理解・体験】 ○日本赤十字の活動を通して、他の人や地域社会に役立つことを考え、自分から進んで実践しようとしている。	⑪【ボランティア】 遠野に「まごごろ」が集まった
	1		特別活動 「学校の安全」 【知識・理解・体験】 ○ショート訓練を行うことで、災害時に安全を確保できる方法が分かっている。	⑭【身を守り、生き抜くための技能】 「とっさの判断と行動—ぐらっときたら、こうしよう」
5	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑲【災害時における情報の収集・活用・伝達】 「緊急地震速報」
6	2	かわる	社会 「安全なくらしとまちづくり」 【知識・理解・体験】 ○災害防止や緊急時に対処する体制やそこに働く人々の工夫や努力を知る。	⑬【地域づくり】 「地球のみんなで助け合う」
	1		特別活動 「応急手当のしかた」 【知識・理解・体験】 ○応急手当の仕方が分かり、いざという時に役立つことに気付いている。	⑭【身を守り、生き抜くための技能】 「応急手当のしかた」
7	1	そなえる	体育 「着衣水泳」 【思考・判断・表現】 ○服を着た状態で泳ぐ難しさを知り、対応の仕方を考える。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのとき、どうする？」
9	1		特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震や火災に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑲【災害時における情報の収集・活用・伝達】 「とっさの判断と行動」
10	1	いきる	道徳 「もっこ」をせおって 【意欲・関心】 ○人のために働くことの心地よさに気付き、進んで働こうとする態度を養う。	③【価値ある自分】 「もっこ」で弁当配達
	2	かわる	総合的な学習の時間 「ハンディキャップ体験」 【知識・理解・体験】 ○計画した活動を体験し、体に障がいをもった人たちを理解する。	⑨【仲間や地域の人々とのつながり】 「二人三脚二輪」
	2		総合的な学習の時間 「うぐいすの郷訪問」 【知識・理解・体験】 ○うぐいすの郷の方々と交流をし、自分たちにできることに気付く。	⑩【県内外や海外の人々のつながり】 「人々をつないだ歌声」
11	1	かわる	特別活動 「三代代交流会・感謝の会」 【知識・理解・体験】 ○家族や地域の人々と交流を通し、感謝の気持ちや協力することの大切さが分かっている。	⑬【地域づくり】 「地域みんなで助け合う」
12	1		理科 「水のすがたと温度」 【知識・理解・体験】 ○自然災害について知り、発生のメカニズムや災害について理解する。	⑭【自然災害発生時のメカニズム】 「急な大雨・かみなり・たつ巻」
	1		社会 「昔から今へと続くまちづくり」 【知識・理解・体験】 ○雫石町の災害の歴史について知り、災害に備える必要性を実感する。	⑰【自然災害の歴史】 「日本の主な大害」
	1		総合的な学習の時間 「くらしを見つめよう」 【意欲・関心】 ○自分の生活を守るための備えとして、防災マニュアルの必要性に気付く。	①【かけがえのない生命】 「多くの命を救った防災無線」
1	2	そなえる	総合的な学習の時間 「くらしを見つめよう」 【思考・判断・表現】 ○個々にそれぞれの家庭にあった防災マニュアルを考える。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「家族会議を開こう—わが家はだいじょうぶ？」
2	1		特別活動 「避難訓練」 【実践】 ○災害に応じた避難方法を理解し、自ら周囲の人と協力して、安全な行動をしている。	⑭【身を守り、生き抜くための技能】 「地域の避難訓練に参加しよう」
	1		総合的な学習の時間 「くらしを見つめよう」 【思考・判断・表現】 ○それぞれの家庭の防災マニュアルを発表し合い、家庭での災害の備えについて考える。	⑧【家族のきずな】 「作文 次の日は倍笑おう」

平成27年度 安庭小学校 第5学年 防災教育 指導計画

防災教育の目標	災害に応じた適切な避難方法を身に付け、情報や状況から総合的に判断するとともに、自ら安全な行動をしている。
単 元 名	自分の命は、自分で守る。
単 元 目 標 【教育的要素】	【意欲・関心】 災害について基本的な理解ができ、災害を防ぐ工夫について考えている。 【知識・理解・体験】 災害により引き起こされる危険について関心をもち、自ら危険を回避する方法を考えている。 【思考・判断・表現・実践】 日頃から地域との関わりをもつことにより、災害発生時に、家族や友だち、地域の人たちと協力して危険を回避している。

月	時 間	価 値	指導計画	副読本との関連
			教科・領域等 「単元名・活動テーマ」 【教育的要素】 ○目標	【具体の21項目】 「題材名」
4	1	いきる	道徳 「クマのあたりまえ」 【意欲・関心】 ○かけがえのない命を大切に、自分自身で守っていくことを考える。	①【かけがえのない生命】 「20キロ圏内から来たキティー」
	1	かかわる	総合的な学習の時間 「鉾ヶ崎について知ろう」 【知識・理解・体験】 ○鉾ヶ崎のいいところと被災状況について調べ、これからの課題を考える。	⑭【復旧・復興へのあゆみ】 「もっこで弁当配達」
5	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑳【身を守り、生き抜くための技能】 「防災力を高めよう－ショート訓練のすすめ」
	2	かかわる	総合的な学習の時間 「鉾ヶ崎を訪問しよう」 【知識・理解・体験】 ○人々の生き方に触れることによって、人とのつながりの大切さを考える。	⑭【復旧・復興へのあゆみ】 「未来のために－五つの提言」
6	1	そなえる	総合的な学習の時間 「鉾ヶ崎のことをまとめよう」 【思考・判断・表現】 ○体験したことを新聞にまとめ、自分たちの地域にあった提言を考える。	⑭【復旧・復興へのあゆみ】 「未来のために－五つの提言」
7	1	かかわる	体育 「着衣水泳」 【知識・理解・体験】 ○服を着た状態で泳ぐ難しさが分かり、安全を確保するための対処方法を知る。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのとき、どうする？」
9	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震や火災に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑲【災害時における情報の収集・活用・伝達】 「とっさの判断と行動」
	2	いきる	総合的な学習の時間 「学んだことを発表しよう」 【意欲・関心】 ○被災地から学んだことを生かし、主体的に演劇で表現しようとする。	②【自然との共存】 「未来のために－五つの提言」
10	1		総合的な学習の時間 「学んだことを発表しよう」 【意欲・関心】 ○被災地の人々の生き方を通して、これからの自分の生き方を考える。	②【自然との共存】 「未来のために－五つの提言」
	1	かかわる	理科 「台風と天気の変化」 【知識・理解・表現】 ○台風による災害や備えについて知り、日常生活に生かそうとする。	⑯【自然災害発生メカニズム】 「台風のしくみと被害」
11	2		理科 「流れる水のはたらき」「土砂災害」「急な増水」 【知識・理解・体験】 ○川の水による災害や備えについて知り、日常生活に生かそうとする。	⑯【自然災害発生メカニズム】 「急な大雨・かみなり・たつ巻」
12	1	かかわる	総合的な学習の時間 「大雨体験をし、大雨について知ろう」 【意欲・関心】 ○地域の方の体験を聞き、災害を自分事ととらえ、備えの大切さを考える。	⑲【災害時における情報の収集・活用・伝達】 「家族といっしょに防災マップをつくろう」
	2	そなえる	総合的な学習の時間 「大雨体験をし、大雨について知ろう」【知識・理解・表現】 ○地域を危険箇所を実地踏査し、安庭小学校区で災害が起こった場合どのような行動をとるか考える。	⑲【災害時における情報の収集・活用・伝達】 「家族といっしょに防災マップをつくろう」
1	1		社会 「情報を生かすわたしたち」 【知識・理解・体験】 ○災害発生時における情報の大切さや、情報の収集、選択、発信の方法が分かる。	⑲【災害時における情報の収集・活用・伝達】 「正確な情報の発信・収集・判断」
	2	そなえる	特別活動 「大雨が発生したら」 【思考・判断・表現】 ○これまでに学習した体験と知識を活用して、行動の仕方を思考・判断している。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのとき、どうする」
2	2		総合的な学習の時間 「大雨の怖さを伝えよう」 【思考・判断・表現】 ○学んだことをパンフレットにまとめ、避難の仕方について家族に伝える。	⑲【災害時における情報の収集・活用・伝達】 「家族といっしょに防災マップをつくろう」
	1	かかわる	特別活動 「避難訓練」 【実践】 ○災害に応じた適切な避難方法を身に付け、情報や状況から総合的に判断するとともに、自ら安全な行動をしている。	⑳【身を守り、生き抜くための技能】 「地域の避難訓練に参加しよう」
3	3		社会 「自然災害とともに生きる」 【知識・理解・体験】 ○自然災害と自然環境との関係や災害から暮らしを守る取り組みについて分かる。	⑰【自然災害の歴史】 「日本の主な災害」
	1	いきる	総合的な学習の時間 「学習をまとめよう」 【思考・判断・表現】 ○避難訓練について振り返り、地域・家族とともにできることをまとめる活動を通して、将来の希望をかなえるために必要なことを考える。	④【夢や希望の大切さ】 「夢、勇気をもって― 一歩踏み出そう」

平成27年度 安庭小学校 第6学年 防災教育 指導計画

防災教育の目標	災害に応じた適切な避難方法を身に付け、情報や状況から総合的に判断するとともに、自他の安全を考えて、主体的に行動している。
単 元 名	自分の命は、自分で守る。
単 元 目 標 【教育的要素】	【意欲・関心】 災害について基本的な理解ができ、災害を防ぐ工夫について考えている。 【知識・理解・体験】 災害により引き起こされる危険について関心をもち、自ら危険を回避する方法を考えている。 【思考・判断・表現・実践】 日頃から地域との関わりをもつことにより、災害発生時に、家族や友だち、地域の人たちと協力して危険を回避している。

月	時 間	価 値	指導計画	副読本との関連
			教科・領域等 「単元名・活動テーマ」 【教育的要素】 ○目標	【具体の21項目】 「題材名」
4	1	いきる	総合的な学習の時間 「わたしたちにできること」 【意欲・関心】 ○資料を通して、本単元の主な学習内容を知り、これからの課題を考える。	①【かけがえのない命】 「多くの命を救った防災無線」
	1	かかわる	道徳 「土石流の中で救われた命」 【知識・理解・体験】 ○助け合いや協力によって成り立っていることを理解し、感謝する心情を養う。	⑬【地域づくり】 「地域みんなで助け合う」
	1		総合的な学習の時間 「災害のメカニズムについて知ろう」 【知識・理解・体験】 ○災害のメカニズムについて理解し、自分たちにできる備えを考える。	⑯【自然災害発生のメカニズム】 「地震のしくみと被害」
5	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのとき、どうする」
	3	かかわる	総合的な学習の時間 「日本の主な災害」 【知識・理解・体験】 ○様々な自然災害が起きていることを理解し、どのような備えが必要か考える。	⑰【自然災害の歴史】 「日本の主な災害」
6	2	そなえる	総合的な学習の時間 「地域の防災について考えよう」 【思考・判断・表現】 ○身近な地域の災害を知り、自ら課題を見つけ地域の防災について考える。	⑬【地域づくり】 「地域みんなで助け合う」
	1		総合的な学習の時間 「調べたことを発表しよう」 【思考・判断・表現】 ○感想を交流したり、家族に伝えたりする活動を通して、地域づくりに進んでかかわろうとする心情を育てる。	⑬【地域づくり】 「高校生が地域にかかわる」
	2		総合的な学習の時間 「わたしたちにできること」 【思考・判断・表現】 ○自分たちの町の防災を考える活動を通して、地域の人たちとできる防災について考えを深める。	②【復旧・復興への歩み】 「町を元気にするために、高校生サミット」
7	2	かかわる	総合的な学習の時間 「わたしたちにできること」 【思考・判断・表現】 ○避難訓練を計画する活動を通して、積極的に地域の活動に参加しようとする態度を育てる。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「地域の避難訓練に参加しよう」
	1		体育 「着衣水泳」 【知識・理解・体験】 ○服を着た状態で泳ぐ難しさを知り、身の安全を確保するための対処方法が分かる。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのとき、どうする」
9	2		理科 「土地のつくりと変化」 【知識・理解・体験】 ○大地は、地震や火山の噴火によって変化することが分かる。	⑯【自然災害発生のメカニズム】 「火山噴火のしくみと被害」
11	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【思考・判断・表現】 ○地震や火災に対する避難方法を理解し、危険回避行動をどうすればよいか考えている。	⑳【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「そのとき、どうする」
2	2	かかわる	社会 「災害に備える―公助・共助・自助」 【知識・理解・体験】 ○災害が発生した時、国や地方公共団体・地域の人たちの取り組みが分かる。	⑱【自然災害のライフラインへの影響】 「大きな災害ではライフラインがとまる」
	1	そなえる	特別活動 「避難訓練」 【実践】 ○災害に応じた適切な避難方法を身に付け、情報や状況から総合的に判断するとともに、自他の安全を考えて、主体的に行動している。	⑨【仲間や地域の人々とのつながり方】 「二人三脚二輪」
3	1	いきる	総合的な学習の時間 「安庭小防災宣言」 【意欲・関心】 ○遠藤さんの行動を通して、自分なら何ができるか、災害にどう備えるか考える。	①【かけがえのない命】 「多くの命を救った防災無線」
	3	そなえる	総合的な学習の時間 「安庭小防災宣言」 【思考・判断・表現】 ○避難所としての安庭小学校の働きや自分たちができることを考え、地域に発信する。	⑬【復旧・復興への歩み】 「未来のために一五つの提言」
	1		総合的な学習の時間 「未来へ」 【思考・判断・表現】 ○復興教育について振り返り、地域・家族とともにできることをまとめる活動を通して、将来の希望をかなえるために必要なことを考える。	④【夢や希望の大切さ】 「夢、勇気をもって― 一步踏み出そう」